

GB 渦が森地区 (渦が森 環境の森) 令和元年第1回活動報告

提出日 (令和元年08月07日)

団体名	シニア自然大学研究部自然と環境科		
実施日	令和元年06月14日 (金)	当日の代表者	須崎俊英
連絡先	電話	06-6387-4917	FAX 同左
	E-mail	suzaki@voice.ocn.ne.jp	

項目	内容
活動範囲 現在の活動地範囲明確化の結果 (赤井氏より)	<p>北西限： 生物多様性調査域 (10m 四方 杭あり) 整備時 要注意！！</p> <p>北限：上部フェンス フェンス長さより 幅は広い</p> <p>東限： ほぼ登山道の西側</p> <p>南西限： 中腹に看板 川より西に急斜面 を登った所、300φ 程度の木の根元上 に石を置いた。</p> <p>南東限： 川との合流点</p> <p>環境科看板設置場所</p> <p>□ 主な活動地 □ 国有地 — 登山道</p>
活動内容 (スケジュール)	午前：渦が森での森林整備 (ネザサ刈・森の事務局との現地打ち合わせ) 午後：現地の動植物観察 WS 実施
参加人数	16 人
その他 (所見等)	<p>HP への掲載を (希望する・希望しない)</p> <p>午前：今回は夕方から雨という中の短い晴れ間に助けられた。徹底したマダニ対策のもと全員慣れた調子でにぎやかに 2 時間ほどのネザサ刈を楽しんだ。大きく成長したクヌギの日陰は涼しくネザサも確実に成長が抑えられている。</p> <p>・森の事務局；赤井さんとの Q&A 結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 活動範囲の確認；上記地図参考：暫定的に枝に赤いテープ使用 間伐による現状変更の制限：間伐は自由 50%程度可能 指導も可 植樹種類の自由度について：グリーンベルト事業の趣旨に合致するものとする。要望があれば相談可 果実樹は難しい。

4. 手刈り推進上の限界感：事務局では刈払い機の使用は勧めていないが使用要望も多いので安全講習会を推進している状態。刈払い機の使用を考えるなら、可搬性・保管の容易さ・振動・静音性から電動刈払い機と手刈りの併用はどうか？（事務局使用品を展示紹介あり）

午後：現地の動植物観察 WS

科員に現地を馴染んでいただくため、村瀬科員が植物資料を参考に WS を行った。その後天候が崩れ始めたので早めに解散した。

以上

様式-5（活動報告②）

活動状況（写真-1）※



*午後のWSの中で生き物大好きな村瀬科員が見つけた「楽しい虫や卵たち」
ウスタビガの幼虫



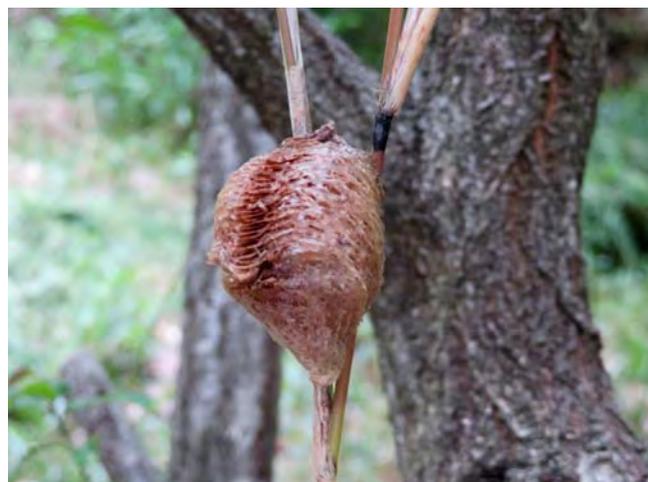
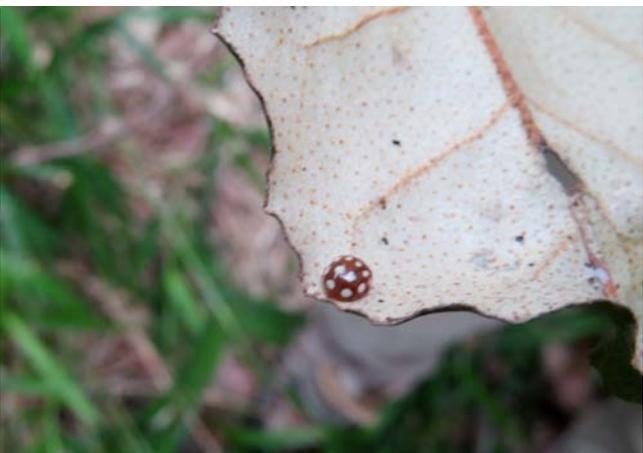
シャクトリムシ



シロホシテントウムシ



カマキリの卵



※活動実施後できるだけ速やかに（概ね1週間程度で）ご提出願います。

※写真は別途 jpg ファイル等で送付していただいても結構です。